【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2008-10395(P2008-10395A)
【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-002
【出願番号】特願2007-54583(P2007-54583)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　61/34　　　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　 2/00　　　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/00　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　61/34　　　　　Ｃ
Ｆ２１Ｍ　 1/00　　　　　Ｍ
Ｆ２１Ｙ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内管の内部に発光管が収納された状態で、前記内管が外管内に収納されてなる金属蒸気放電ランプであって、
前記発光管の径方向における前記内管と前記発光管との間の最短距離をＡ（ｍｍ）とし、当該最短距離となる仮想線分の延長上における前記内管と前記外管との距離をＢ（ｍｍ）としたときに、
２×Ａ＋Ｂ　≧　１．０６
<u>Ａ　≧　０．３</u>
の関係を満たす
ことを特徴とする金属蒸気放電ランプ。
【請求項２】
前記発光管は、略同一線上で対向する一対の電極を内部に備え、
前記一対の電極間の領域であって前記一対の電極を結ぶ仮想線分に対して直交する面における前記発光管の断面のうち、前記発光管と前記内管との距離が最短となる断面における前記発光管と前記内管との距離をα（ｍｍ）とし、前記一対の電極間の領域であって前記一対の電極を結ぶ仮想線分に対して直交する面における前記発光管の断面のうち、前記内管と前記外管との距離が最短となる断面における前記内管と前記外管との距離をβ（ｍｍ）とすると、
α　≦　５　　且つ　　β　≦　２．５
の関係を満たす
ことを特徴とする請求項<u>１に</u>記載の金属蒸気放電ランプ。
【請求項３】
金属蒸気放電ランプと、当該金属蒸気放電ランプから発せられた光を所望方向に反射させる反射体とを備える照明装置であって、
前記金属蒸気放電ランプは、請求項１<u>または２</u>に記載の金属蒸気放電ランプである

ことを特徴とする照明装置。